



Show Rotary Cares
ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区——久保田 昭 治
ガバナー——五十嵐 総 一
会 長——細 井 増 雄
会長エレクト——長谷川 有 美
副 会 長——佐 野 勝 栄
幹 事——西 山 徳 厚
副 幹 事——山 浦 日出夫
S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	77名中 58名
先々週出席率	90.41%

ヴィジター

三条南より

佐藤栄一さん

先週のメイクアップ

3/27 燕へ

荻根沢隆雄さん、外山一郎さん

3/27 加茂へ

山田富義さん、渡辺勝利さん

3/27 新潟東へ

渋谷健一さん

3/30 三条南へ

捧 賢一さん、松谷昊吉さん、
西山徳厚さん、石橋育於さん、
加藤紋次郎さん、斎藤弘文さん、
藤田紘一さん

3/31 三条北へ

林 光輝さん、橋 直樹さん、
高波久雄さん

会長挨拶

五十嵐総一会長



みなさんこんにちは

食事中の方もいらっしゃいますが第1例会ということで、早めさせていただきます。本日は南クラブから佐藤さん、ようこそいらっしゃいました。佐藤さんからは後で創立30周年のお話があると思います。是非お聞きください。

この間まで20度近い暖かい日が続いて桜の開花も近くなったなと思っていましたが今日はだいぶ寒く、山間部は雪が1~20センチ降るといふ予報ですが、どうか体に十分気を付けて頂きたいと思えます。

4月は雑誌月刊と言うことで皆さんのところへ4月号の「ロータリーの友」が届いております。普段読まない方も目を通して頂ければ幸いです。雑誌委員長の川又さんが今日卓話ということで、それについて川又さんからお話があるのではないかと期待しております。

先日26日、見附ロータリークラブの創

立15周年記念事業がありました。見附ロータリークラブは当クラブのしいて言えば子供ということで、創立に際しいろいろご苦勞をされたということで、三条ロータリークラブの鈴木会員が特別代表としてお招きを頂き、お忙しい中、出席していただきました。

今日は皆さんのテーブルに和菓子が用意されています。4月3日が当クラブの創立記念日です。本来ならばワインをいつものように準備させて頂くところですが、皆さんは車で来られている方が多いということもございませす。また、常日頃の奥様の内助の功もお有りになるでないかと思えます。ちょっと心配りをいたし、奥様と共に和菓子でお茶でもと思いましてお付けさせて頂きました。酒ではなくて申し訳ございませす。

報告を一つさせて頂きたく思えます。ジャスコの店長の渋谷秀幸さんが退会ということに決定いたしました。残念ながら会員がまた一人減りました。どうか皆さんから会員増強のことをいろいろ考えていただき、協力していただければありがたいと思っております。

今日のご挨拶はこれで終わりに致します。

幹事報告

佐野勝栄幹事

◎例会変更のお知らせ!

燕RC

4月16日(木) 4クラブ合同観桜会
於 明治屋

加茂RC

4月16日(木) 花見例会

田上あじさいRC

4月28日(火) 夜の例会

分水RC

4月16日(木) 4クラブ合同観桜会

4月21日(火) 分水堤防清掃

巻RC

4月16日(木) 4クラブ合同観桜会

吉田RC

4月17日(金) → 16日(木)

4クラブ合同観桜会

三条北RC

4月14日(火) 夫人同伴夜例会

「男の料理教室」

於 三条総合福祉センター

PM5:15~

◎三条中央ライオンズクラブより

市内5クラブ現・次年度会長幹事会開催のご案内がとどいております。

とき 4月23日(木) PM6:30~

ところ 千翔

◎三条南ロータリークラブより

創立30周年記念式典のご案内がとどいております。

とき 6月6日(土) PM1:30~

ところ ハミングプラザVIP

記念講演 「人間再発見」

作家 藤本義一殿

申込締切 4月15日(水)

※三条ロータリークラブは半数登録ですので、よろしくお願い致します。

ニコニコBOX



(三条南RC)

田中正佐久さん・佐藤英一さん

6月6日の当クラブの30周年記念行事に是非ご参加下さい。お待ちしております。

五十嵐総一さん

4月3日創立記念日をお祝いして。川又さんの卓話を楽しみに。

小林英雄さん

家内が主宰する草月流集峯会は、3月28日・29日まるよし本店でいけばな展を開催。入場者多数で盛会でした。御来場下さった当クラブ会員及び家族の方に心からお礼申し上げます。

三堀正純さん

三条RC並びに会員の皆様の益々の御活躍と御発展をお祈りいたします。

藤田紘一さん

久しぶりのホームクラブ出席です。

広岡豊作さん

NTT宮尾さんのおかげで大変良いことがありました。有難うございました。

捧 賢一さん

そろその花のたよりが聞かれるようになりました。

野水文治さん

入会41年になりました。

佐藤吉平さん

早退させていただきます。

橘 直樹さん

都合により早退させていただきます。

金子俊郎さん

4/1本日、入庫式がありました。新人12名将来に期待したいものです。

4月1日分 ¥ 25,000

今年度累計 ¥ 716,000



ロータリー財団ボックス

加藤紋次郎さん

双子の内孫と外孫の3人が小学校に入学する年(還暦)になりました。うれしいのやら悲しいのやら!!...です。

渡辺喜彦さん

2番目の孫が小学校入学です。ピカピカのまま健康で成長してくれると良いと願っております。

4月1日分 ¥4,000



卓 話

川又嘉瑞範会員



久しぶりの卓話でございます。雑誌委員として卓話をせよということでプログラム委員の方から仰せ付けられました。たぶんその時は創立記念日だということを知らなかったんだと思います。本来な

らば創立記念日の卓話と言うと藤田さんか鈴木さんが話される予定だったように思います。格が違いますけれども時間が許す限りお眠りなどしながらお聞きください。約20分間程話をさせていただきます。

まず2つ程ご報告をさせていただきます。一つは私の娘の件でございます。三条ロータリークラブから今から約11、12年前ですが交換学生として選ばれましてカナダに留学した娘がいます。ようやく嫁の行き先が決まりまして、父親としてはほっとして安堵いたしています。その1年間の交換学生の海外生活が病み付きになりまして海外を転々とした生活をしまして、最後はオーストラリアで骨を埋めるのか一時なのかわかりませんがオーストラリアで結婚することになりました。相手はイタリア系オーストラリア人です。そんなことで三条ロータリークラブにはいろいろ厄介になりました。

その娘もとうとう5月24日に結婚することになりました。その前に3回程オーストラリアに家族で行きまして、本人をまず見て婚約の契りを交わしまして、結納みたいなものをやりました。5月には家族でオーストラリアに行き結婚式に出るということで、あんまり何回も行きますとすぐ行ける気になりまして国際結婚だという感じすらなくなりました。今度オーストラリアにずっと住むこととなりますので連絡もままならないのですけれど、ロータリークラブの人達にも会う

こともあるかと思しますのでその時はよろしくお願ひします。

もう一つは、やはり三条ロータリークラブでご厄介になりました古澤有峰(ユミ)さんという方でございます。この彼女をご存じの方がだいぶおられると思いますが4・5年前にスイスにロータリー財団の1年間交換学生で行かれた方です。彼女も海外に行ったために来年あたり結婚されるということです。相手はイタリア系スイス人と聞いています。なにか海外に行くことと海外の人と一緒にいることとで恐くてやれない気がいたします。おめでたい事だなと思ひます。

この古澤有峰さんは当クラブのロータリー財団の奨学生で一年間ということで行ったのですけれど、当時、熊倉昌平さんが財団委員長として、この有峰さんは熊倉さんのことを「ロータリーの父」と呼んでおります。今でも時々連絡をくれております。

彼女が新潟大学に在学当時、新潟クラブの渡辺徹一ガバナーの方から三条クラブの藤田ガバナーの方にこの話があったように記憶しています。渡辺ガバナーは三条出身の新潟大学生ですごく優秀な子がスイスの学校に財団の奨学生として入学したいという話を受けまして、「そんなよい話は三条クラブに藤田ガバナーという方がいらっしゃるからあなたは三条出身なのだから是非三条クラブからやらせてもらいなさい」ということで行かれた記憶もっています。

今この話をしたいのは、ロータリー財団というのは化物で当時なにも有った様な無いような財団でした。と言うのはどういう事かといえますと、熊倉さん、私はその下で働いていたのですがすごく苦労したということです。一年間交換学生とか夏期の交換学生とかいうものではなくて、この財団の奨学生についてはすごく問題があるなと今だに感じています。

今日はビッグバンの始まりでございますがロータリーもこの日がビッグバンしたほうがよいなと感じています。

この古澤さんは「夢の学問」、寝てみる夢の精神的な学問「ムンク」と言うそうなんです、この教室が世界に2つしかないそうで、その一つのスイスで勉強したいというのがそもそもの始まりでした。

日本のロータリー財団では本部があるアメリカの財団に連絡する訳です。そしてアメリカの財団からスイスの財団に連絡します。スイスは言葉がドイツ語ですから、スイスのなかでカウンセラーというのを設けるわけです。そのカウンセラーは大学の教授です。英語が巧みでまとめて日本との連絡を取られますが、残念ながら日本の財団では英語を喋れる人がいないものですから、うまく話が進まなかったのです。

そんな事でスイスの財団に連絡をしたり、アメリカの財団に連絡をしたり、そしてスイスのカウンセラーの方に連絡をしたりということで、当時古澤有峰さん

がすごく難儀されて、それを担当した熊倉さん、私、そしてこれの事務をやった私の娘が本当に難儀をしたことを覚えています。

スイスのカウンセラーは大学教授でしたのでなかなか連絡が取れないのです。それからアメリカ財団の方にFAXで連絡をやるとFAXが午前中に入ると午後2時に配布になるそうです。それから検討しますと、翌々日あたりしか返事が帰ってこないのです。

奨学生のスイスのビザもアメリカではなかなか発行してくれなかったり、航空券が来なかったり、スイス側の受け入れ学校が決まっているのに受入れ家庭が決まっていなかったり、約一週間位寝ずに作業をしたことを覚えています。

アメリカ本部にFAXを送り、スイスのカウンセラーにFAXを送り、お互いの情報を聞いてくるために、日本からそれをやろうとすると時差の関係で全部夜になります。それで夜の大体8時、9時頃から有峰さんと私と私の娘の三人でまず日本語で手紙を書きまして、それを英訳してもらってFAXで流して返事を待つのですが全然来ないのです。そんなやり取りの中で、ようやく行く日も決まっています。いざ行こうと思うとビザが下りないのです。ビザが下りなくてもやろうという結論になったんですけど、熊倉昌平さんから「ビザ無しで独身の女子を海外にやることは絶対できない」と言うことで待ったが掛かりました。もう学校も始

まっていた。こんなことで当時、熊倉財団委員長があまりに難儀したので「もう財団には協力しなくてもよいのではないか」というような話を頂きました。

財団というと格好いいようで皆さんが寄付をされますが、いざこういう時になると費用や、手続き、連絡の面でキュウキュウの目に遭わされたものですからそういう意見が出たのです。

それで一つ約束を破った事があります。奨学生に障害保険を掛けることはまかりならなかったのですが、あまりにも費用や、手続き、連絡の面で問題があるので熊倉さんと話をして、三条ロータリークラブが遣った人だけにもし万が一彼女に何か起こった場合を考慮して保険にこっそり入れさせてもらった経過があります。今だから時効になりますので言いますが、たまたま彼女がスイスでヒョウソウにかかって入院する羽目になりました。保険が役立ちまして、ヒョウソウを治した彼女はその事を非常に有り難く思い、今だに「三条ロータリークラブ本当にありがとう」ということを年賀状などで敬意を熊倉さんに伝えているということです。

また可愛い子でしてそのうち、当ロータリーの卓話にも一度来て頂きたいと考えています。今では立派になられて4月から東京大学医学部の医学系大学院で研究をされることに決まったそうです。

また彼女は東京に来る前に京都にいました。神戸の震災にボランティアとして、精神的なショックを受けた人々の治療で

かなり活躍をされたと聞いています。

もう一つは10数年前に私の娘の1年間交換学生の見返りとして、交換学生が三条に来ました。今も三条クラブでは交換学生を受け入れておりますが、その経験が生かされて今はだいぶ上手くいっているようです。

当時はなかなか上手くいかないものも沢山ありました。その当時の話を後6分程ありますのでさせていただきます。

学校の問題もありますが、受入れ家庭の問題が一番です。受入れ家庭は交換学生1人につき4軒の家庭くらいが必要だと思っています。1軒で3カ月から4カ月が限度かなという気が致します。それは奨学生もそうですけど、受入れた側の家庭もそのように感じているなと思います。

今年2軒で受入れたのですが、その1軒は当クラブの小林敬典さんで6カ月近く世話をしていますが、大変だなと感じています。是非ロータリークラブの皆さんが力を合わせて後押ししたら良いなと感じています。

交換学生の衣食住のなかで一番ロータリークラブが関わっているものは衣、着るものなんです。交換学生が来るのは7月で夏服で来るのです。トランク一つしか持って来ないのです。

昔はロータリー会員の子女が1年間交換学生だったので、最近はずっとロータリーに関係の無い人が来ます。たまたま三条ロータリーにはエミーとい

う一般の子が来ました。その時に言われたことは、行けば全てロータリークラブが面倒を見てくれるということで来られたそうです。それが7月に着の身着のままみたいな薄着のまま来て、そして夏から秋、冬、春と。男の子の場合はまだよいのですが、女の子の場合は体が日本人に比べて大きいので日本のものを着ることができないのです。

そんなことで通学のオーバーとか衣類の問題をもう少しクラブもいろいろ考えるべきだと思っています。これらはみんな受入れ家庭の負担になっています。

もう一つはホームシックです。ホームシック対策をロータリークラブではもっと前向きに唱えるべきです。どうしても3カ月過ぎるとホームシックに罹ってしまうのです。2週間くらいでホームシックに罹ります。その頃をどうホームシックに対応すべきか、電話を掛けるとだめだとか、何がだめだとか言っていないで、もう少し子供たちのホームシック対策をクラブで考えるべきです。今は受入れ家庭に任せきりであるというのが現状であります。受入れ家庭もホームシックについては大変困っております。

もう一つは通学の手段です。受け入れ学校まで歩いて行ける距離ならば全く問題はないのですが、高校ですから自転車通学の方が多いのです。天気の良い日は良いのですが、雨が降ったり、雪、あられ、みぞれが降ったときどうするのかという事を考えねばならない。そして雨具の用

意をきっちりクラブでやってやる、そうでないと全てそれも受入れ家庭の負担になるということです。

または別の通学方法などを。たまたま私の時は「アメリカではみんなお父さんが送ってくれるよ」って言うんです。「まあそうか」と天気の良い日はいいですけど、雨の日など寒いような日には私が仕方なしに車で送ったことが数回あります。

そんなことで日本とはその辺が違うということも考慮した方がよいだろうかと考えています。

交換学生が半年くらい経つと結構さばさばものを言うようになるのです。その中で折角日本に来たんだら日本の有名地を見たいと言うのです。例えば富士山、東京、京都などは特に見たがるのです。これは全国的に交換学生の東京見物みたいなのをやっていますが、それだけではどうも納まらないような気がしてならないのです。この辺も受入れ家庭ではかなり困っているところがあると思います。現実私も困ったところが沢山ありました。今でも子供の心は富士山を見たい、東京も、京都も見たい、そういう心は常に持っていると思います。

そんなことで半年以上経ちますと、今度は交換学生の家族が来られます。私のところではエミーの両親がいらっしゃいました。当時のロータリークラブではその様な経験、それを受け入れる体制が無いものですから、対応ができませんでし

た。「家族の方が来られたのですがどうしたらよいのでしょうか」と言っても、「あーそうですか」くらいのことだったと思います。

今はさばけまして家族の方が来られたらどうしたらよいかとなると、ロータリークラブの方で考えていただけたらと思います。

今回もネーザン君のご家族の方が必ず来られると思います。今の会長さんはエミーさんの受入れ家庭の一軒であり、その時の国際奉仕委員長でもありましたので、全て知っていられるので心配ないと思います。

そんなことでここに2、3揚げてみました。

私が雑誌委員で雑誌の話をしないでこういうことを話したのは、今当条クラブに交換学生が来られているからです。

あれは国際奉仕、または青少年委員の仕事なんだと、皆さん何も感じないと思いますが、やはりクラブとして受けてクラブとしてやっていることですので、皆さんの心の中にもう少し強く受け止めて、交換学生を受入れるときには全員で気持ちを出し合い「上手くやれよ」というくらいになれば上手くいくと思います。

以上でございます。

